

令和6年度第1回社会教育委員会議兼中央公民館運営審議会 会議録

1 日時

令和6年5月17日（金）午後1時30分から午後3時00分まで

2 場所

碧南市文化会館5階 研修室1

3 出席者及び欠席者

- (1) 出席者 中根 孝明、清水 ヨシエ、伊藤 利和、榊原 健、新美 慶太郎、
有村 純一、原田 朋浩
- (2) 欠席者 竹原 邦夫、島崎 肇也
- (3) 事務局職員 教育部長 山田 昌宏、文化財課長・藤井達吉現代美術館副館長 杉
浦 宏真、文化財課 課長補佐・藤井達吉現代美術館副館長 木村 理
恵子、スポーツ課長 中嶋 忠彦、碧南海浜水族館長 地村 佳純、
生涯学習課長 鈴木 善三、生涯学習課 係長 竹内 みほ子、生涯学
習課生涯学習係主事 榊原 康史

4 傍聴者 なし

5 議題

- (1) 令和6年度社会教育事業計画について
- (2) 令和6年度社会教育関係団体への補助金の交付について
- (3) その他
 - ア 年間の主な活動計画について

6 議事の要旨

- (1) 教育部長あいさつ
- (2) 辞令交付
- (3) 会長あいさつ
- (4) 議題

ア 令和6年度社会教育事業計画について

事務局が会議資料に基づき、各課より令和6年度社会教育事業計画について説明した。結果、事務局案が了承された。

<主な意見・質疑>

【A委員】昨年 150 万だった海外の都市やスポーツ団体と積極的に交流するための事業の予算は確保しているか。

【スポーツ課長】予算あり。例年どおり実施する。

【B委員】水に囲まれた碧南市は室町時代から昭和 30 年代くらいまでこの地区の文化の中心を担っていたが、昨今は中心から外れアドバンスも失った。これに対し、何か対策は？

【文化財課長】美術館は全国的に認知度・評価は高く、市内より市外の方がその傾向が高いといえる。市の規模から考えれば十分健闘しているといえるが、今後も企画力等駆使し、盛り上げていきたい。

【教育部長】特色ある施設が多いのが碧南市であり、施設だけでなく、スポーツ補助といった施策もまた特色があるといえる。多くの市民に参加していただく事により実績を重ねていきたい。

【A委員】図書館蔵書数は？

【生涯学習課長】全館併せて約 50 万冊。

【B委員】選択の基準は何か。

【生涯学習課長】人気、需要、リクエスト等を考慮し、司書が選定している。

【B委員】市外在住の利用者について伺いたい。どのような利用形態か。

【生涯学習課長】ご存じのとおり、相互利用制度のため利用できる蔵書は図書館間では差がなくなってきた。そのため市外在住の利用者の多くは市境に居住の利用者であるように感じる。

【B委員】近隣市のような個人の所有する各資料を集約した「〇〇文庫」の創設の構想はないか。個人所有の資料を活用化することは社会教育の課題の一つでは。

【生涯学習課長】古い資料を電子化する予定はある。また、資料の寄付や申し出があった際の窓口等の整備についても検討課題の一つと考える。

【A委員】資料の電子化もだが、紙媒体の活用もまた長所があり、必要である。

【B委員】この会議について発言したい。通常の議題とは別に、予め議題を選定、重点的に議論する場にできないか。

【生涯学習課長】この会議はフリートーク形式で進行しているが、どこに視点を置いて議論するかは委員によって異なり、特定の議題を選定しておくというのは難しい面

がある。予め資料を配布し、各委員各自に要点を選定していただき、本会議でその話題になった時点でより深い議論を開始していただきたい。

【B委員】予め重要な議題を選定しておくことによって、社会教育委員会関連の部署以外の部署からも会議に参加していただき、より深い議論が可能となるメリットがある。縦割り行政を超えてほしい。

【生涯学習課長】「生涯学習推進計画」内の事業であれば把握できるが、他部署を巻き込み議論を始めるとなると、論点が広がりすぎるおそれを危惧する。

【C委員】抱える問題の多くは人口減少に起因するものとする。若者の確保は言うまでもなく重要な課題。対策・展望等についてお聞きしたい。

【A委員】かつては成人式後にフットサルの大会を開催し、若者層の地域活動参加への一助になっていたが、コロナで中断してしまった。継続されていたらまた違った結果になっていたかもしれない。現在では心体ともに健康が失われてしまったことを痛感している。

【B委員】かつて訪れたことのある他市の施設が人口減により閉鎖された事実に関心を感じた。このまま人口減が続けば碧南市も同じ道を辿るであろうことは想像に難くない。今後、公共施設は他市と連携し、広域化等、存続へ向けた方策を模索すべきでは。

【教育部長】公共施設の面積を10パーセント減少しようという動きがある。これは人口減に伴い施設を維持できなくなる危惧による。また、施設の併設や維持のための基金の積み立て等、様々な提案工夫により、公共施設の安定した維持に努めているところであることをご理解いただきたい。

【A委員】外国籍人口の増減に関しては？

【教育部長】人口に占める割合は8.7パーセントであり、県内の平均が4パーセント弱であるが、これは県内で高浜市に次いで大きい。日本国籍の自然増はマイナス、外国籍の自然増社会増はプラス。全体で見ればマイナス

【A委員】人口減は忽せにできない喫緊の課題。社会増ではなく自然増であることが重要と考える。「碧南市には出かけたくなる施設がない」という若者へのアンケート結果に目が留まった。

【B委員】外国人の人口増加は在碧企業の給与額が高くないことが遠因ではないか。

【教育部長】碧南市には中小企業の割合が高く、大企業が多い周辺市との比較はあま

り意味がない。碧南市に就職してもらうことが重要。

【A委員】つくば学園都市の例を見ればわかる通り、高い教育環境には様々なベネフィットが付随する。またそれは人口増という結果を生む。畢竟、芸術・学術・スポーツを問わず特色ある教育、街づくりが重要となる。その意味ではビーチコートやスケートボードパークは中途半端な印象を受ける。良い施設はあるので須らく日本一を目指すべき。

【会長】おっしゃる通り、碧南の施設は規模はともかく、クォリティは非常に高い。例えば水族館は日本国内に130館と世界一保有しているがその中で「登録博物館」という非常に高度かつ数少ない施設である。このような現有する施設、ハードは残し、運営の仕方、ソフトをアップデートすることで、碧南市の社会教育は更なるステップアップが可能。子どものころから良い教育に触れ、成長に応じてより高い質の教育に触れていくことで市民全体の成長が見込むことができる。

【D委員】美術館は若い世代の利用はあるか。自分の幼少期には子供向けの魅力ある企画が少なくそれほど興味が持てなかった。

【文化財課長】近年では若い世代の増加が目立ち「岡本太郎展」等メジャーなアーティストの企画ではその傾向が顕著である。

【D委員】企画自体には魅力を感じるので、今後はアピール方法等の工夫も併せてお願いする。

【会長】イベントの参加者を確保するにはまず子供に興味を持たせるのが良い。子どもも参加したければ大人はそれに付いてくる。最近はやりのキッチンカー等の利用はどうか。

【E委員】自分は高浜市在住であるが、碧南市は多種多様な施設を保有していて魅力的に感じる。また、企画についても同様に多種多様。子どもにとって良い体験となっているので今後もより良い企画をお願いしたい。

【B委員】高浜市には施設が少ないということだが、ならば尚更施設の広域化を推進すべきではないか。

【生涯学習課長】貸館等は現在も市外在住の方の利用は可能。広域的にイベントを展開することについては現段階ではそのような体制ができておらず、まずは「市民」に「生涯学習課」として学びを体験していただく事を第一目標にしており、現在はその実現に向け邁進中である

【教育部長】例えば市の事業として高浜市民が碧南市の施設で成人式を行うということとは諸所問題があり、容易ではない。他市民が個人で施設を使用することは現況においても利用はあり進んでいる。普遍的な施設が利用率が低くて無駄であるというご指摘であれば委員の仰るとおりであり、工夫・検討の余地は十分にあると考える。

【F 委員】碧南市の施設、企画、ともに素晴らしいが、市民がその事実は無自覚なことが残念。ぜひ、更なる周知PRを。

イ 令和6年度社会教育関係団体への補助金の交付について

事務局が会議資料に基づき、令和5年度社会教育関係団体への補助金について報告し、特に質疑なく了承された。

ウ その他

(ア) 年間の主な活動計画について

事務局より会議資料に基づき、今後の年間活動計画について報告し、特に質疑なく了承された。

14時50分 閉会